

LS2208
EAN128専用バーコードメニュー



symbol[®]

72-58807-01-J1

EAN128専用バーコードメニュー

パラメータ項目	初期値
プリフィックス付きデータ転送フォーマット	禁止
サフィックス付きデータ転送フォーマット	禁止
AI(アプリケーション識別子)コード別プリフィックス・サフィックス	-
セパレートコード転送	禁止
AI(アプリケーション識別子)コード削除	禁止
小数点 追加	禁止
日付データ編集	禁止
データ編集1	禁止
()転送	禁止
FN1転送(RS232C,KB I/F,USB共通)	許可
FN1置換(RS232C)	GS(0x1d)
FN1変換(KB I/F)	禁止
FN1変換(USB)	禁止
FN1置換(KB I/F,USB)	CTRL]
数字バーコード	-
ASCIIコード表	-

EAN128専用バーコードメニュー

本メニューは、EAN128のデータ編集機能専用です。
本設定は、I/F等の設定終了後に行ってください。

プリフィックス付きデータ転送フォーマット

「許可」を設定すると、読み取ったデータのAI(アプリケーション識別子)コードの後にプリフィックス(1キャラクター)を付加してデータを転送します。

出力例

商品コード 販売期限 数量(可変) ロット番号
011491234567890417030101301234101234567890123456 (網掛け部分は、AIコード)

01 プリフィックス1491234567890417 プリフィックス03010130 プリフィックス123410 プリフィックス1234567890123456



許可



*禁止

注意:本設定を行った後、「AI(アプリケーション識別子)コード指定」も合わせて設定してください。

サフィックス付きデータ転送フォーマット

「許可」を設定すると、読み取ったデータの後(AIコード毎)にサフィックス(1または2キャラクター)を付加してデータを転送します。

出力例

商品コード 販売期限 数量(可変) ロット番号
011491234567890417030101301234101234567890123456 (網掛け部分は、AIコード)

0114912345678904 サフィックス17030101 サフィックス301234 サフィックス101234567890123456 サフィックス



許可



*禁止

注意:本設定を行った後、「AI(アプリケーション識別子)コード指定」も合わせて設定してください。

EAN128専用バーコードメニュー

AI(アプリケーション識別子)コード別プリフィックス・サフィックス

10種類のAIコードに各々プリフィックスまたはサフィックスを付加して転送します。

「セットAIコードx」のバーコードをスキャンした後、プリフィックスまたはサフィックスを付加するAIコードを「数字バーコード」からスキャンしてください。

指定したいAIコードが4桁未満の場合は、「0」をスキャンして4桁を設定してください。

その後、付加したい「セットプリフィックスx」、「セットサフィックスx-1」、「セットサフィックスx-2」をスキャンして「数字バーコード」から4桁をスキャンしてください(例:CR 「1」「0」「1」「3」)。

出力例

商品コード 数量(可変)
0114912345678904301234 (網掛け部分は、AIコード)

01 プリフィックス 1 14912345678904 サフィックス 1-1 30 プリフィックス 2 1234 サフィックス 2-1 サフィックス 2-2

設定した内容を削除したい場合、クリアxxxを設定してください。



セットAIコード1



クリアAIコード1



セットプリフィックス1



クリアプリフィックス1



セットサフィックス1 - 1



クリアサフィックス1 - 1



セットサフィックス1 - 2



クリアサフィックス1 - 2



セットAIコード2



クリアAIコード2



セットプリフィックス2

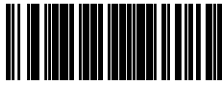


クリアプリフィックス2

EAN128専用バーコードメニュー



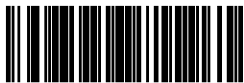
セットサフィックス2 - 1



セットサフィックス2 - 2



セットAIコード3



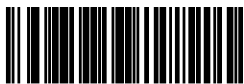
セットプリフィックス3



セットサフィックス3 - 1



セットサフィックス3 - 2



セットAIコード4



セットプリフィックス4



セットサフィックス4 - 1



セットサフィックス4 - 2



クリアサフィックス2 - 1



クリアサフィックス2 - 2



クリアAIコード3



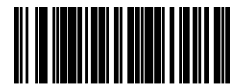
クリアプリフィックス3



クリアサフィックス3 - 1



クリアサフィックス3 - 2



クリアAIコード4



クリアプリフィックス4



クリアサフィックス4 - 1



クリアサフィックス4 - 2

EAN128専用バーコードメニュー



セットAIコード5



クリアAIコード5



セットプリフィックス5



クリアプリフィックス5



セットサフィックス5 - 1



クリアサフィックス5 - 1



セットサフィックス5 - 2



クリアサフィックス5 - 2



セットAIコード6



クリアAIコード6



セットプリフィックス6



クリアプリフィックス6



セットサフィックス6 - 1



クリアサフィックス6 - 1



セットサフィックス6 - 2



クリアサフィックス6 - 2



セットAIコード7



クリアAIコード7



セットプリフィックス7



クリアプリフィックス7

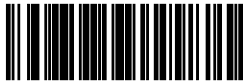
EAN128専用バーコードメニュー



セットサフィックス7 - 1



セットサフィックス7 - 2



セットAIコード8



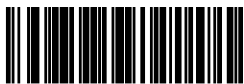
セットプリフィックス8



セットサフィックス8 - 1



セットサフィックス8 - 2



セットAIコード9



セットプリフィックス9



セットサフィックス9 - 1



セットサフィックス9 - 2



クリアサフィックス7 - 1



クリアサフィックス7 - 2



クリアAIコード8



クリアプリフィックス8



クリアサフィックス8 - 1



クリアサフィックス8 - 2



クリアAIコード9



クリアプリフィックス9



クリアサフィックス9 - 1



クリアサフィックス9 - 2

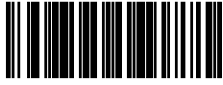
EAN128専用バーコードメニュー



セットAIコード10



クリアAIコード10



セットプリフィックス10



クリアプリフィックス10



セットサフィックス10 - 1



クリアサフィックス10 - 1



セットサフィックス10 - 2



クリアサフィックス10 - 2



全AIコードクリア



全クリア プリフィックス/サフィックス

EAN128専用バーコードメニュー

セパレートコード転送

「許可」を設定すると、AIコードが(1)～(6)に該当する場合、データ内(+の位置)にセパレートコード(1キャラクター)を付加します。

セパレートコードを設定するには、「セパレートコード」をスキャンした後、付加したいキャラクタに対応する数字4桁を「ASCIIコード表」から選び、「数字バーコード」をスキャンしてください(例:CR 「1」「0」「1」「3」)。

1)“412” = データ形式 “n3 + an9”

2)“8003” = データ形式 “n14 + an14”

3)“8006” = データ形式 “n14 + n2 + n2”

4)“8100” = データ形式 “n1 + n5”

5)“8101” = データ形式 “n1 + n5 + n4”

6)“8102” = データ形式 “n1 + n1”

n:数字 (例 n3:数字3桁) , an:英数字(例 an9:英数字最大9桁)



許可



*禁止



セパレートコード

AI(アプリケーション識別子)削除

「許可」を設定すると、AIコード自身を削除して転送します。



許可



*禁止

出力例

商品コード 販売期限 数量(可変) ロット番号
011491234567890417030101301234101234567890123456

(網掛け部分は、AIコード)

↓
149123456789043010112341234567890123456

EAN128専用バーコードメニュー

小数点 追加

「許可」を設定すると、AIコードが下記に該当する場合、小数点を追加して転送します。

310x, 311x, 312x, 313x, 314x, 315x, 316x, 320x, 321x, 322x, 323x, 324x, 325x, 326x, 327x, 328x, 329x, 330x, 331x, 332x, 333x, 334x, 335x, 336x, 337x, 340x, 341x, 342x, 343x, 344x, 345x, 346x, 347x, 348x, 349x, 350x, 351x, 352x, 353x, 354x, 355x, 356x, 360x, 361x, 362x, 363x, 364x, 365x, 366x, 367x, 368x, 369x,



許可



*禁止

出力例

商品コード	販売期限	数量(可変)	重量	
0114912345678904	1703010130	123431031	23456	(網掛け部分は、AIコード)
↓				
0114912345678904	1703010130	123431031	23.456	

日付データ編集

「許可」を設定すると、AIコードが1)～4)に該当し、年月日(Y Y M M D D)の日(D D)が“00”の場合、“00”を削除してデータを転送します。

- 1)“11” : 製造年月日
- 2)“13” : 包装年月日
- 3)“15” : 推奨 / 保証年月日
- 4)“17” : 販売期限年月日



許可



*禁止

出力例

商品コード	販売期限	数量(可変)	ロット番号	
0114912345678904	1703010030	123410	1234567890123456	(網掛け部分は、AIコード)
↓				
0114912345678904	17030130	123410	1234567890123456	

EAN128専用バーコードメニュー

データ編集1

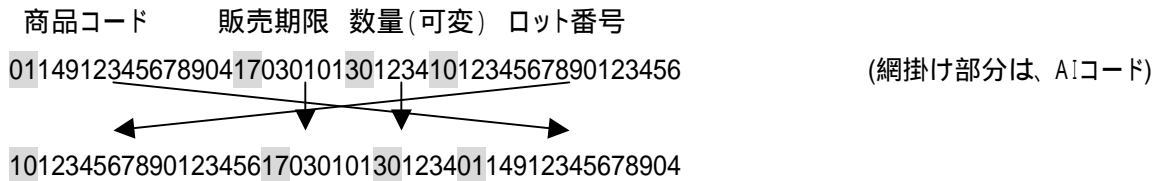
「許可」を設定すると、10種類のAIコードに各々転送する順番を設定します。

「x番目セット」のバーコードをスキャンした後、該当のAIコードを「数字バーコード」からスキャンしてください。

指定したいAIコードが4桁未満の場合は、「0」をスキャンして4桁を設定してください。

尚、順番を設定したAIコードのみを転送します。

出力例



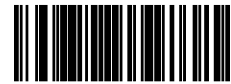
許可



*禁止



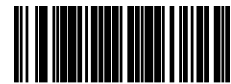
1番目セット



1番目クリア



2番目セット



2番目クリア



3番目セット



3番目クリア



4番目セット



4番目クリア



5番目セット



5番目クリア



6番目セット

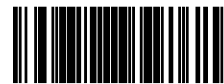


6番目クリア

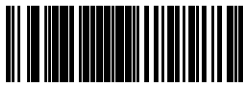
EAN128専用バーコードメニュー



7番目セット



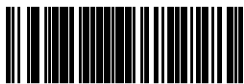
7番目クリア



8番目セット



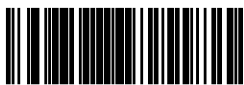
8番目クリア



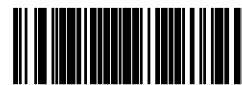
9番目セット



9番目クリア



10番目セット



10番目クリア



全順番クリア

()転送

「許可」を設定すると、AIコードに“()”を付加してデータを転送します。

出力例

商品コード 数量(可変)
0114912345678904301234

(網掛け部分は、AIコード)

(01)14912345678904(30)1234



許可



*禁止

EAN128専用バーコードメニュー

FN1転送(RS232C,KB I/F,USB共通)

「禁止」を設定すると、FN1キャラクタを削除してデータを転送します。



*許可



禁止

FN1置換(RS232C)

FN1キャラクタを「FN1置換値(RS232C)」で設定した値に置換します。

「FN1置換値(RS232C)」のバーコードをスキャンした後、置換したい値(数字4桁)を「ASCIIテーブル」から選び「数字バーコード」でスキャンしてください。(例:Enter 「7」「0」「1」「3」)。

本機能を有効にするには、「FN1転送(RS232C,KB I/F,USB共通)」を「許可」にしてください。



FN1置換値(RS232C)

FN1変換(KB I/F)

「許可」を設定すると、「FN1置換値(KB I/F,USB用)」で設定した値を有効にします。

「許可」のバーコードをスキャンした後、「FN1置換(KB I/F,USB)」を設定してください。



許可



*禁止

FN1変換(USB)

「許可」を設定すると、「FN1置換値(KB I/F,USB用)」で設定した値を有効にします。

「許可」のバーコードをスキャンした後、「FN1置換(KB I/F,USB)」を設定してください。



許可



*禁止

FN1置換(KB I/F,USB)

FN1キャラクタを「FN1置換値(KB I/F,USB)」で設定した値に置換します。

「FN1置換値」のバーコードをスキャンした後、置換したい値(数字4桁)を「ASCIIテーブル」から選び「数字バーコード」でスキャンしてください。(例:Enter 「7」「0」「1」「3」)。

本機能を有効にするには、「FN1転送(KB I/F,USB共通)」を「許可」にしてください。



FN1置換値(KB I/F,USB)

EAN128専用バーコードメニュー

数字バーコード



0



5



1



6



2



7



3



8



4



9

EAN128専用バーコードメニュー

ASCIIテーブル

ASCII	Full ASCII Code		ASCII	Full ASCII Code	
	VALUE	39EncodeChar.		VALUE	39EncodeChar.
NUL	1000	%U	SP	1032	SP
SOH	1001	\$A	!	1033	/A
STX	1002	\$B	"	1034	/B
ETX	1003	\$C	#	1035	/C
EOT	1004	\$D	\$	1036	/D
ENQ	1005	\$E	%	1037	/E
ACK	1006	\$F	&	1038	/F
BELL	1007	\$G	'	1039	/G
BACK SPACE	1008	\$H	(1040	/H
HORIZ TAB	1009	\$I)	1041	/I
LF / NEW LINE	1010	\$J	*	1042	/J
VT	1011	\$K	+	1043	/K
FF	1012	\$L	,	1044	/L
CR / ENTER	1013	\$M	-	1045	-
SO	1014	\$N	.	1046	.
SI	1015	\$O	/	1047	/
DLE	1016	\$P	0	1048	0
DC1	1017	\$Q	1	1049	1
DC2	1018	\$R	2	1050	2
DC3	1019	\$S	3	1051	3
DC4	1020	\$T	4	1052	4
NAK	1021	\$U	5	1053	5
SYN	1022	\$V	6	1054	6
ETB	1023	\$W	7	1055	7
CAN	1024	\$X	8	1056	8
EM	1025	\$Y	9	1057	9
SUB	1026	\$Z	:	1058	/Z
ESC	1027	%A	;	1059	%F
FS	1028	%B	<	1060	%G
GS	1029	%C	=	1061	%H
RS	1030	%D	>	1062	%I
US	1031	%E	?	1063	%J

EAN128専用バーコードメニュー

ASCII	Full ASCII Code		ASCII	Full ASCII Code	
	VALUE	39EncodeChar.		VALUE	39EncodeChar.
@	1064	%V	‘	1096	%W
A	1065	A	a	1097	+A
B	1066	B	b	1098	+B
C	1067	C	c	1099	+C
D	1068	D	d	1100	+D
E	1069	E	e	1101	+E
F	1070	F	f	1102	+F
G	1071	G	g	1103	+G
H	1072	H	h	1104	+H
I	1073	I	i	1105	+I
J	1074	J	j	1106	+J
K	1075	K	k	1107	+K
L	1076	L	l	1108	+L
M	1077	M	m	1109	+M
N	1078	N	n	1110	+N
O	1079	O	o	1111	+O
P	1080	P	p	1112	+P
Q	1081	Q	q	1113	+Q
R	1082	R	r	1114	+R
S	1083	S	s	1115	+S
T	1084	T	t	1116	+T
U	1085	U	u	1117	+U
V	1086	V	v	1118	+V
W	1087	W	w	1119	+W
X	1088	X	x	1120	+X
Y	1089	Y	y	1121	+Y
Z	1090	Z	z	1122	+Z
[1091	%K	{	1123	%P
¥	1092	%L		1124	%Q
}	1093	%M]	1125	%R
^	1094	%N		1126	%S
—	1095	%O	Undefined	1127	defined
			CR / LF	7013	

EAN128専用バーコードメニュー

設定例: AI(アプリケーション識別子)コード別プリフィックス・サフィックス

No.	パラメータ項目	設定内容
1	プリフィックス付きデータ転送フォーマット	許可
2	サフィックス付きデータ転送フォーマット	許可
3	セットAIコード1	0001
4	セットプリフィックス1	A
5	セットサフィックス1 - 1	B
6	セットサフィックス1 - 2	"TAB"
7	セットAIコード2	0030
8	セットプリフィックス2	C
9	セットサフィックス2 - 1	"ENTER"

出力:

0114912345678904301234

01A14912345678904B"TAB"30C1234"ENTER"

設定:

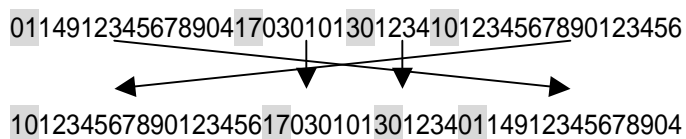
- 1) "プリフィックス付きデータ転送フォーマット" 「許可」
- 2) "サフィックス付きデータ転送フォーマット" 「許可」
- 3) 「セットAIコード1」 「0」 「0」 「0」 「1」
- 4) 「セットプリフィックス1」 「1」 「0」 「6」 「5」
- 5) 「セットサフィックス1 - 1」 「1」 「0」 「6」 「6」
- 6) 「セットサフィックス1 - 2」 「7」 「0」 「0」 「9」
- 7) 「セットAIコード2」 「0」 「0」 「3」 「0」
- 8) 「セットプリフィックス2」 「1」 「0」 「6」 「7」
- 9) 「セットサフィックス2 - 1」 「7」 「0」 「1」 「3」

EAN128専用バーコードメニュー

設定例1

No.	パラメータ項目	設定内容
1	データ編集1	許可
2	1番目セット	0010
3	2番目セット	0017
4	3番目セット	0030
5	4番目セット	0001

出力:



設定:

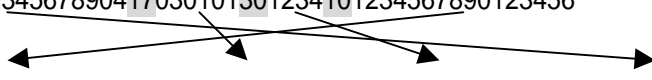
- 1) “プリフィックス付きデータ転送フォーマット” 「許可」
- 2) 「1番目セット」 「0」 「0」 「1」 「0」
- 3) 「2番目セット」 「0」 「0」 「1」 「7」
- 4) 「3番目セット」 「0」 「0」 「3」 「0」
- 5) 「4番目セット」 「0」 「0」 「0」 「1」

EAN128専用バーコードメニュー

設定例2

No.	パラメータ項目	設定内容
1	データ編集1	許可
2	1番目セット	0010
3	2番目セット	0017
4	3番目セット	0030
5	4番目セット	0001
6	サフィックス付きデータ転送フォーマット	許可
7	セットA[コード1	0010
8	セットサフィックス1 - 1	"TAB"
9	セットA[コード2	0017
10	セットサフィックス2 - 1	"ENTER"
11	セットA[コード3	0030
12	セットサフィックス3 - 1	"TAB"
13	セットA[コード4	0001
14	セットサフィックス4 - 1	"ENTER"
15	A[(アプリケーション識別子) 削除	許可

出力:

011491234567890417030101301234101234567890123456

 1234567890123456 "TAB" 030101 "ENTER" 1234 "TAB" 14912345678904 "ENTER"

設定:

- 1) 「1番目セット」 「0」 「0」 「1」 「0」
- 2) 「2番目セット」 「0」 「0」 「1」 「7」
- 3) 「3番目セット」 「0」 「0」 「3」 「0」
- 4) 「4番目セット」 「0」 「0」 「0」 「1」
- 5) 「サフィックス付きデータ転送フォーマット」 「許可」
- 6) 「セットA[コード1」 「0」 「0」 「1」 「0」
- 7) 「セットサフィックス1 - 1」 「7」 「0」 「0」 「9」
- 8) 「セットA[コード2」 「0」 「0」 「1」 「7」
- 9) 「セットサフィックス2 - 1」 「7」 「0」 「1」 「3」
- 10) 「セットA[コード3」 「0」 「0」 「3」 「0」
- 11) 「セットサフィックス3 - 1」 「7」 「0」 「0」 「9」
- 12) 「セットA[コード4」 「0」 「0」 「0」 「1」
- 13) 「セットサフィックス4 - 1」 「7」 「0」 「1」 「3」
- 14) 「A[(アプリケーション識別子) 削除」 「許可」